愛國婦人會機關

愛國婦人

每月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢 一ヶ月分六錢 三ヶ月分拾八錢 半ヶ年分參拾六錢 壹ヶ年分七拾貳錢 全國無遞送料 郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麹町區下二番町三十七番地 大日本女學會內 愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社説

◎禮法に就いて

京都府幹事　廣瀬宮子

廣瀬女史は京都に於て年久しく女子教育に從事せられて經驗に富める教育家なり。此程當地に來遊ありしを機とし、訪問して高説を聞き得たれば社說にかへて玆に掲ぐ。速記にものしたるにあらざれば、固より記者が把住の一端に過ぎず讀者諒焉。

◎禮儀は文明の花なり　禮儀あるに由りて人間と動物との差を生ずる所以でありまして、禮儀を知らぬ人は動物と同じやうな扱を受けても異議は申されますまい。智識は十分に進み、物質的の事は能く備はッて居ッても、禮儀を知らぬ國民は野蠻國民と申して差支はないと思ひます。實に禮儀は文明の花でありまして、文明の進むに從ひ其花はいよ〱色香をそへ行く筈のものであります。禮儀は尊卑の關係より起るものでありますが、元來禮儀とは秩序を意味して居りまして、秩序は國の安寧を維持するものであります。日本今日の國民はどうでありましやうか、禮儀ある國民で秩序の觀念に厚き文明の國民と申されませうか。

◎日本は禮儀嚴正なる國なり　歐洲は禮儀が正しいと申しますが、日本程世界に禮儀の嚴正なる國はないのであります。封建時代に武士の禮儀の正しかッた事は世界比無であります。今日歐洲で禮儀として行ふ事は總て行ッて居ッたのであります。一例を申せば、西洋では婦人の前で煙草を喫まぬと申しますが、日本でも尊長の人の前で煙草は決して喫みませなんだのです。其他にもいろ〱西洋に比して劣らぬ正しい禮儀が備はッて居りました。然るに維新以來階級制度の廢せらるゝと共に、四民平等の觀念からして禮儀なるものは總て廢れました、四民平等の觀念では禮儀なるものは果して要せぬものでありましやうか、決してさうではありますまい。私は四民平等の觀念に於てこそ始めて眞正なる禮儀が行はれる事と考へます。昔の禮儀は餘儀なく行うたものである、強制て行うたものである、今日の禮儀は自ら進んで行ふもので、任意に行うものである、心からして行ふものであるから、今日に於て行ふ禮儀が最も正しいのであると考へます。元來人に長幼男女の區別あり貧富賢愚の差がある以上は、人は平等のものではありません、其間に自然上下の區別尊卑の差が生じ、玆に禮儀なるものが生れ出るのであります。四民平等とは決して之れを指して云ふのではありませぬ。然るに維新の際、人々が誤解して禮儀は不要なものかの如く心得て、今日の如き有樣になッたのであります。

◎禮儀は家庭に於て最も必要なり　親子の間夫婦の間の如く互に親密の間に於ても、禮儀は最も必要な事であります。「久しうして之を敬す」と申すことがありますが、親密の度が加はるに隨ッて益々禮儀を厚うせねばなりませぬ、故に禮儀の觀念は家庭に於て最も必要でありまして、家庭の亂れるのは、親密の加はるに從うて狎れ易きが人情である爲に、自然禮儀が欠けるから起るのであります、特に主婦は最も禮儀を正しうして、一家の禮儀の手本を作らねばなりませぬ。子供の禮儀を正しうすることは殊に主婦の任でありまして、自ら禮を正しうして下の者に接せねば禮儀は行はれるものではありませぬ。昔より武家にはやかましい作法がありましたが、今日は家庭に於ける禮儀が廢れましたから、從ッて社會の禮儀が行はれなくなりました。

◎禮儀の缺けた案内狀　私は常に申しますのですが、晩餐會の案内狀に往々膳部の都合もあるから、何日までに來否を知らせよとの事を書いたのがあります、是は大變禮を知らぬ話して、元來人を招くに當りては、其人の來否にかゝはらず、膳部は總て用意して置くべき筈で御座いませう。然るに來れば膳を調へるが否らざれば膳を調へぬと云ふやうな案内の仕方はありませぬ。又案内を受けた人も禮を知らないものが多い、案内を受けたら其厚意に對し、必ず之に應ずべきが禮であッて、若し万止を得ざる差支のために行くことが出來ない時は、自ら訪うて事情を陳べ、禮を厚うして斷らねばならぬと思ひます。然るに今日では相方とも間違ッて居る樣に考へます。

◎禮服の調製を要す　女の學問する時代や、娘の時代では、未だ禮服の必要はありませぬが、苟も一家を持ッた以上は、禮式に臨まんために、禮服の必要を生じます。故に私は常に若い婦人達に注意するのであります、始めて結婚した人の心懸けは、第一に男の禮服を作り、第二に自分の禮服を作る事を要します。平生に用ゐる縞の着物などはどんなものでもよいので御座います、平常服がないと云うて恥をかく事はありませんが、禮式に臨んで禮服のないのは主人の大なる恥亦主婦の恥辱であります、恰も戰に臨んで武士が槍もない太刀もないと云ふのと同じとて、一家の恥であります。昔の武士佐野源左衛門が錆たりと雖も此長刀を持ち痩せたりと雖も此馬に乘り云々といふ樣に古びては候へ共此禮服ありとの心掛が主婦には極めて必要であります。流行を追うて衣服を作ッても肝要な禮服がなくては家の恥辱に關することがあります。

◎婚禮の儀式　日本に於ける婚禮の儀式などは是非一定せねばならぬ事と思はれます婚禮は一生の一大事でありますから、最も嚴正に行はなくてはなりませぬ。儀式が神聖に行はれぬときは、一生の堅めが出來ませぬ。私が人々に行はせます婚禮の式は、床の間に出雲の神を祭り、之に神酒をさゝげ其前で夫婦の誓ひをさすので御座いまして、待女郎たる者が、之に證人として立會ひ、神酒をいたゞかして以て誓の表しと致します。神前では盃の交換は致しませぬが、神の前で誓ひます。此方法は、足利時代より行はれて居ります、島臺其他儀式に飾りつける物品は、神に供へる供物でありまして、又如何なる邊鄙の土地でも事欠かぬ樣な品物を供へる事となつて居りまして、日本の婚姻の儀式としては一番神聖に行はれる樣に思はれます。

愛國婦人會熊本支部八代部會に事を執り給へる正七位伊藤松江ぬしが還暦の賀に伴松延齢といふ事をよみて遣しける

評議員　中山幸子

ことしより千年の松のみどり子に
またゝちかへる君そめてたき

かけ高き松のさかえを友として
君はちとせをかさねますらむ

同　　評議員　有島幸子

國の爲つくす翁のよはひには
まつも千歳をゆづるなるらん

評議員
子爵夫人小笠原秀子筆

ことしよりなほ幾千代の友ならむ
松のちとせと君かよはひは

大日本女學會の學期終了を祝して

理事　侯爵夫人　鍋島榮子

をしへくさつみかさねたるとし月の
光りいよ〱そひぬへきかな

有島幸子の君より「いつまでもかくてあるへき身のほどをおもへはつらき我心かな」といひおこせられたるかへし

評議員　中山幸子

いつまでも世になからへてありしまの
さちこそ君かいさをなりけれ

函館にやどりける夜港をのぞみて

評議員　下田歌子

雨もよひ黒める海のたゝ中に
ゆらく火影は軍艦かも

またのあした

ゆく雲の影さへみえてかゝみなす
海原の上にあさ日にほひぬ

函館なる臥牛山の麓にやとりて

秋のよの月の光も水の音も
ふけていよ〱すみ增りけり

電話番町壹千三百三十番

◎本號附錄には石川縣支部能美郡幹事會の寫眞を掲ぐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

訪問

◎婦人の慈善的職業

評議員　山脇房子

左の一篇は記者に向ッて物せられし山脇夫人の談話なり。各地の會員方の同感を得まほしけれは、こゝにその要領をかゝぐ。

◉婦人の會合と仕事　婦人の會合をして益々盛んならしめるには如何したらよいかと云ふ事は、皆樣も御研究になつて居ることとてありませうが、何か仕事を與へると云ふ事が第一であります。多數の會員が集まつた所で、何等の話もなく、何等の用事もない時には、何の爲に集まッたのか要領を得ませず、歸りには何の齎す所もなく、無益に時間を費した事を追想するより外何の所詮もありませんて、斯樣な會合は二度目には屹度人が集らなくなります。或熟練な海軍の將校は航海中水兵が無事に苦む時は、繩綯りを命じたと云ふ事でありますが、仕事のない程手持無沙汰で困る事はありませぬ。夫で私は愛國婦人會の水曜會でも、用事のない時には、會合した人に仕事を授ける事即ち有形的の仕事をさすと云ふ事が必要てあらうと思ひまして、私は誰でも平等に熟練を要せずして出來る仕事、即ち狀袋を貼る事にして、其狀袋の賣上高を婦人會に寄附すると云ふ考案で、一度皆樣に計つた事もありましたが、成立致しませんでした。馬車に乘ッて來て狀袋を貼ると云ふのは甚だ不經濟な事のやうでありますが、慈善的事業の本旨は又此にあるかと思ひます。

◉赤坂區幹事會の事業　赤坂區では幹事が六人ありまして、松平男爵夫人の令孃松平芳子、羽田三緒子、保利久子、新山雅樂子、進道子の方々と私とでありますが、會員の募集が容易に出來ませぬから、せめては金を作り出さうと云ふ相談が纒まりまして、毎月一回第二金曜日に赤坂倶樂部に寄ッて狀袋貼りを致す事に定めました。又其時には自分の內で貼ッたのも持ち寄ッて計算する事に致して居ります。狀袋貼りは百枚について三錢の利益がありまして、一ヶ月一人千五百枚張る事に致し、一ヶ月金四十五錢の利益になります。六人て一ヶ月金二圓七十錢一ヶ年三十二圓四十錢の金を愛國婦人會に納める事になります。此金高は通常會員三十二名を紹介した事に當りますから此方法を永續したいと思ひます。

◉婦人の義務　男は生產事業に從事して常に金を儲ける、女は消費の側で此儲けた金を使用する方に立ッて居ります。故に何程儲けが多くても、使用する方を愼まねば金は溜るものでない道理て御坐います。然るに近來慈善的の企てが多くて、慈善のために金を出す事が多くありますが、此慈善費迄一々夫のポケットの中から支出を請ふやうでは、婦人は益々意氣地のないものになります。故に慈善費位は自分が儲け出す覺悟がなくてはなりませぬ。又少く注意すれば出來ることと思ひます。一家の整理を秩序よく立て、時間を嚴重に應用したならば、如何なる家でも、一時間や二時間は暇の出來ぬ事はありますまい。此暇を利用して編物をしたり、刺繡をしたり造花をしたりして、之によッて得たものを以て慈善費に充ッる樣に勸めねばならぬと思ひます。

◉婦人の職業は儉約の要義を示す　狀袋貼りは卑い職業のやうに思はれますが、決して卑い事はありませぬ。慈善の目的の爲に狀袋を貼る事が何が卑うありませうか、卑くないのみならず、非常に此仕事によッて儉約の要義を習ひます。即ち金錢を儲ける事が非常に困難であると云ふ事が知れます。狀袋で申せば、百枚貼り上げて漸く纔に三錢の利益ほかありませぬ。夫の儲けた金を三錢使用する事は最も容易でありますが、さて自分が其三錢を儲けやうとすると、斯樣に時間と困難とを要します、之を思へば金錢は濫りに使用すべきものでないとの觀念が起ります。從ッて一方には儉約の要義を解するやうになります。由ッて私共は土曜日には必ず預かッて居る子供なり下婢なりに狀袋貼りを命じ、一には慈善的の精神を發揮せしめ、二には勞動に馴れしむる習慣を作り、三には儉約の要義を悟らしむる事に致して居ります。

◎南洋の婦人（承前）

龍江義信

◉食物の調理　土人が食物を調理するにどんなことをするかと云ふと、先づ地面を堀つて其中に石を澤山入れさうして其上て火を焚き、其中に種々な物を投込むのです。豚を御馳走する時にはどうするかと云ふと、まづ豚を殺して之を毛燒にして待ッて居る。一方では今申した通り、自分の家の庭を一尺位に堀ッて其處へ石を入れ、さうして盛に火を焚く。凡そ二時間ばかりドン〱焚く。其火を取ッて仕舞ふと直に豚肉を其內に入れて上から燒石を肉の上へ載せるです。其間へ芋などの皮を剝いて入れ、木の葉を澤山被せて、其上へ熱灰とか土の燒けたのをスッカリ被せて二時間ばかり其儘で置く。さうすると丁度好い工合に蒸せるです。

◉土人の饗應　土人の食事は朝十一時頃一回と夕方一回と二食である。吾々が馳走になったのは十一時でした。大概人を招くのは十一時頃で、其朝は土人が早く起きて地面を堀ッたり種々御馳走の準備をして十一時頃になッて用意が整ふた所で遠近の者を招くてす。招くにも一々案內するのではなくして、大きな木の丸太を拵へた日本の木魚のやうな太皷を叩く。さうすると其音を聞いて彼方の森の陰から五人、此方の林の中から三人と云ふやうに御馳走を食べに來る。銘々椰子の實だとか檳榔子とか云ふやうなものを持ッて來るので最初に自分の持ッて來た檳榔子に石灰を付けて、日本人が鐵漿を付けるやうにギュー〱擦ッて、それから檳榔子を食ふのです。それから豚の丸燒を竹の箆で切ッたり裂いたりして客に分配する。客はそれを右の手に握り、左の手には芋とか椰子とかの實を持ッて豚を食ッたり芋や果實を食ッたりする。最初檳榔子を食ッて幾分か口がサッパリした所へ、豚とか芋とか云ふ物を食ふ。それが濟むと、自分の持ッて來た椰子の實を取ッて二つに割り、さうして其果汁を飲むです。次に汁の無くなッたやつを爪で剝起して食ふ。是が食事の一通りの法則てある。此豚は土人に取ッては此上もない食物であッて、結婚の時でも右のやうな元服の時でも、又葬式の時などでも何時も豚が最上の食物としてある。

◉木の上の住居　さて家屋はどうであるか。是は極簡單なもので、木の枝の上に丁度鳥が巢を造ッたやうに出來て居るのもあり、或は水の上に造ッてあるものもあッて、何れも裝飾などはまるで無い。モウ極簡單て御話する程のことはないです。

◉奇妙な貨幣　一躰此地てはどう云ふ貨幣を通用して居るかと云ふと、ニューアイルランドの方てマンゲンと云ふのがある。これは或島で貝を取ッて來て、節の所の赤みのして居る部分を一分位な薄い物にして其眞中へ石の錐で穴を穿つと、日本の一厘錢のやうな直徑一分あるかないかと云ふやうな小な珊瑚珠色の物が出來るのである。それをマンゲンと云ッてズッと繫いて一尋二尋と云ッて數へる。其貨幣が通用して居るですが、それは非常に貴いもので、普通の椰子の實を買ふとか芋を買ふとかいふ時は物と物との交換で決してマンゲンを使はない。然らば其貨幣を使用するのはどう云ふ場合であるかと云へば、豚を買ふ時に用ゐるのである。即ち此マンゲンが一尋あれば百斤もあるやうな立派な豚が買へる、斯う云ふ風で豚が非常に貴ばれて居る。

◉婚姻の奇風　それから前に申しました七八年も家の中に入れて丹精した娘はどう云ふ風にして嫁にやるか、つまりどう云ふ資格の人が娘を貰ふことが出來るかと云ふと、少くとも三尋のマンゲンを持たなければ嫁を貰ふ資格がない。又娘の方ても三尋貰はなければ往かぬのである。其貨幣を貰ッてどうするかと云ふと、其中の一尋は七八年間監督をしてくれた兩親にやる。モウ一尋はその間自分のために別居して居つた家族にやる。殘の一尋は己の持參金として持ッて行くので、少くとも三尋のマンゲンがなければ嫁を貰ふことが出來ぬ。であるから、ニューアイルランド邊の男子は金が無くて妻を娶ることの出來ぬ者が大變多いてす。從ッてマンゲンの多少で土人の資格が定まる、マンゲンを三十尋以上持ッて居る者はオゴドンと云ッて日本の旦那樣と云ふ位な資格で、土人の中では非常な金滿家であります。其下がペッパーレンと云ッて旦那樣に次ぐ中流の人で、一尋も持ッて居らぬ者をアガナオと云ッて下等の人間としてある。斯う云ふ風にマンゲン三尋で女房を一人貰ふことが出來ると云ふ位であるから、土人は容易なことでは此金を放さない。で、此國は一夫多妻て金のある者は何人ても女房を娶る、或酋長の如きは私共の見た時に一人て十一人も女房を持ッて居ッたです。十一人も持ッて居る者があると同時に、一方には終生無妻で暮さなければならぬと云ふやうな者もある。

（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎男女交際に就て

文學士　下田次郎

此一篇は客月廿六日、丁酉倫理會に於て物せられし、演説の要領なり、文字の責は記者にあり。

◉交際の意義　二つ以上のものが相接して相關係するのを交際といへば、太陽の周圍を地球が回るも、地球に月の附屬せるも、皆交際なり、而して茲に云ふは人間の交際なり。人間の交際にも色々ありて、男子と男子・女子と女子・男子と女子の三あり。又年齡よりいへば、子供、青年、中年、老年の區別あり、此處には、青年と中年との男子と女子との交際に就て論ず。

◉男子ばかり交際を專にす　今男女の交際を見るに、男子のみ交際場裡に現はれ、女子は室内に籠れり。即ち、東洋風にして、支那、印度に行はるゝ男子七歲にして席を同うせざる訓戒を實行し居るものあり。抑も支那に於ては、働かざるを以て品位あるものとし、婦人の德には消極的のもの多く、從ッて家内の交際も少なく、社交的のものは皆無といふべき狀態なり。

◉女子ばかり交際を專にす　次に男子が現れずして女子のみの世界あり、此等は男子の數少くして其珍重せらるゝと蜂の女王の如く、戸外の働きは女子に限り、漁家の海婦、旅人宿、酒樓の主婦の如きは女子の權力男子を壓倒す。

◉男女同等の交際　次に男女共に家庭の内外を問はず等しく働き、しかも其間に少しも徑庭なく、婦人が敎育、慈善等、社會事業に關係すること、歐米各國の文明國に見るところのものあり。

◉交際は同等をよしとす　以上の如く交際に三種あり、何れが善きかと云ふに、無論同等なるをよしとす。然し風俗、習慣等の事情あれば、理論を以て直に實行し得べきにあらざれども、我國の交際場裡に、同等の程度のものを導き入るゝに當り、今より其方針に向て進むも別に障礙を見ざるなり。

◉同等と同權とを混ず可からず　余は男子に選擧權あれば、女子にも之を與へざる可からずと云ふにあらず、各其適當に其地位を得るを以て同等と云ふなり。

◉新き事は異樣に見ゆ　慣れざる眼より見れば彼の男子と、女子の共同敎育、女子の躰操の如きは、異樣に見ゆ、又接吻又は停車場にて男女相抱くが如きは、日本人より見れば、禽獸夷狄の觀あるも、此禽獸夷狄が、日本の浴場を覗かば、言語同斷と呆るゝならん。故に日本が世界と交通する以上は、世界の風俗を採用すべきや否やの論生ぜざるを得ず。

◉日本固有の男女交際法　日本は神代より暫時の間は、固有の男女交際法ありしならむが、支那と交際するに及んで、婦人の天地は家庭内のみに限られ、漸次に年數は經過し、總て女子は消極的なるを尊び、唯間違なき樣にとのみ注意するに至れり。若し間違のなきを要せば、何もせざるが最も間違のなきものなり。

◉男女の調和は自然なり　女子は斯る運命に安んずべきか、又は、男女交際より生ずべき利益を受くべきか、元來男女は、生理上に、又精神上に、相異ること、自然にして、男らしき男を女子は好み、女らしき女を、男子は愛するなり。男女相待ちて、相調和するは、亭々たる蒼松に紅花を呈する蔦葛を纏ふが如し。かゝる自然の調和に加へて人爲的に、敎育せば、益々高尙複雜を加へ、愈々其美を發揮するに至るべし。

◉交際の方法　今日十分實行し得るや否やは暫く措き、人爲的の特色を交際によりて發揮すべき方法は先づ男女の身躰の關係よりの間違を防ぎ、其交通を頻繁ならしむるにあり、これが方法としてまづ男女の觀念を更むべし。從來の觀念は身躰上に過ぎざりしを、精神的に觀察せしむる習慣を作り、且つ男女の觀念を兄弟姉妹の如くならしむべきなり。古代は兄弟姉妹を男女と見て實行したる事實ありて、これを今日の男女に用ゐ、少時よりこれが觀念を養成せしむべし、男女共同敎育の如き其一方法なり。

評議員　嘉納須磨子筆

◉男子の克己心　次は克己なり、有躰にいへば情慾の壓制なり。女子が男子に對して危險なるか、男子が誘惑するものなるか、思ふに一般は其罪男子にあり。克己の必要は、男子に向て之を多く見る、其方法として男女の仕事を多くし、運動を盛んにし、風俗を亂すべき小說、新聞を廢止し、寄席、劇場等の不都合なるものに立入らしめざるにあり。

◉男女交際の機會を作る　次は留守居は猫と嫁といふ習慣を破り、諸談會等に婦人の出席を多からしめ、公園の散歩、郊外の逍遙に、男女相伴はしむべきなり。西洋にては、學生旅行にまで細君を伴ふものあり、日本には、其機稀にして、稀なるだけ露骨なり、宜しく穩當にして有益なるものに限らしむべし。

◉婦人の出る法　然れども女子の出づるは宜しく其法あるべし、猥に出づべからす。時間の如き晝間に規定し、夜陰などは許すべからず、時と場所とを選ぶべし。又宴會等に女子の出席するものあるも唯出席するのみにて、談らず、食せず遂に空しく歸るものあり。然れども談るべきに談らずして、歸るものなれば、其家に歸るや、喃々喋々其要あらざることまでも談し、其陰險にして表裏あると驚くべし、かゝる弊習は改良すべきなり。出席する以上は要なき遠慮は無用に屬す。

◉貴女として迄尊敬するに及ばず　善良なる家庭は同情のある所に存し、從屬的の中に成立せず、力を賴むで弱者を凌ぐは男子の本領にあらざるなり。されども、西洋に於ける如く貴女として女子を尊敬するまでになすの要なきなり。女子を壓するも、尊敬に失するも、共に病的にして、要は其中庸を得るにあるのみ。

◉女子の獨立と交際の擴張　又女子に職業を與へて獨立の氣象を養ひ、品位を高からしむべし。女子をして家庭的のものに止らずして、其領分を廣く一般に及ぼさしむべし。さすれば交際も多きに至らん。

以上陳述せる幾多の事をなすは、女子の責任なるか、男子の義務なるか。いふまでもなく、女子は多く消極的のものなれば、男子たる者進んでこれが先鋒となりて誘導の任に當るべきなり。

◎服裝の事に付いて

北多摩郡　會員　某

九月廿五日發刊の愛國婦人に、谷子爵婦人の婦人會合に於ける服裝の御話を承りまして、誠に感服致しました。私も地方會員の一人で在いまして、そも本會發會の初より進で入會致したので在います。又自村の會員は當時皆私の勸誘致したので、此等の會員が大會の御通知を受まするや、先第一に心を痛めまするは服裝のことで、彼是と皆私に相談を掛けるので在います。そこで私は申しました、本會は多くの貴婦人方御出席の御場所故定て我々田舍婦人の驚く程の御服裝で御出席遊ばされませうが、人々は夫々身分相應と申すともございまして、特に彼の奥村刀自の半襟一と掛の御主意に本づき、萬事質素に致すこそ可然と存じます、故に私は只有合の衣服にて出席致す心得なれば、皆樣にも其思召にてと申しました。されど大會の都度必ず出席致しますのは本郡に於ても私許りのやうに存じます。而して他の地方より御上京に相成りました會員方を見受ますると（市中御見物旁の御出席にもせよ）特別會員も通常會員も皆貴婦人方御同樣の御服裝で御出席の方が多いやうに存じます。右の狀情で進みましたなら、半襟一と掛もなんのその却て參會の爲に半襟を御求に成るくらゐであらうと存じます。兎角世の中が日一日と奢侈に流るゝ爲でもございませうが、本會員たる者（高位高官の令夫人方は別として）奥村刀自の御主意で尙一層の質素を守りたいものでございます。拙き筆に斯申すも汗顔の外はございませんが、本會の盛大ならんことを祈ります故地方の現狀を申したのでございます。

◉前號にかゝげたる谷理事の談話について

前號谷令夫人訪問談中、綿服は手織服の間違なりし、猶其他にも不十分なるふしあれば、此の全文は一先づ取消し、追つて折を得再び訪問して高說をかゝぐべし。讀者幸に之を諒し給へかし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生 飲食(つゞき)

水 水は通常飲物と稱すれども、或場合には食物の用をなすとあるは、彼の飢餓に迫りし人の唯水のみを飲用して、十日間位其生命を保つとを得るを見て明なり。又人體の三分の二は水より成り、齒牙の如き堅き質の中にも尙百分の二の水を含むといへば、其他の柔軟なる部分等には更に其多量を含有せるとを推知すべく、その人體に必要にして一日も缺くべからざるを知るべきなり。

水の効用 吾人の飲料中には勿論水を含み、食物も亦水中に溶解して其滋養質は體内に吸收せられ、また有害物も水に混じて體外に輸出せらる、即ち體内の新陳代謝は水力によりて營まるゝものなり。さて體内に入りし水は血液消化液及び全身諸部の組織の間隙を滿たす體液となりて温政を調節し、不用のものは尿又は汗等となりて體外に排泄す。若し不幸にして體内に水の缺乏を來す時は如何なる苦痛を感ずべきか、將た如何なる結果を呈すべきか、是れ彼のコレラ患者の容態を見ば自ら明なり。即ちコレラ患者は最初の吐瀉の際急に多量の水を失ひ、爲に血液の水分減少して濃厚となるか故に體内を循環すると能はず、非常なる苦痛の後終に絶命するものなり。又渇者は其水の不足なるが爲に僅に一二日にして生命を失ふも、飢者はかゝるとなし。以て體内に於ける水の効用の大なるを知るべし。

水は獨り體内のみならず、體外に於ても衛生上最も必要なり。即ち沐浴洗滌器物の洗滌其他夏期凉氣を起し或は塵埃を鎭むる爲の撒水等其用甚だ多し。

水の腐敗 さて飲料として用ゐる水の中に地中の炭酸瓦斯を含むものは良水なれども、有機物分解して硫化水素炭化水素等を含むものは臭氣ありてよろしからず。又井水は汲みたては清潔なれども、時を經るに從ひ空氣と觸れて鐵は酸化し、硫化水素の硫黄は分離して溷濁を生ず。又加里、曹達、石灰、苦土、アムモニア、鐵、礬土等の鹽基は炭酸、燐酸、鹽素、硫酸等と化合し、鹽類となりて水中に混ず。而して礬土の鹽類を含む水は幾回之を濾過するも其溷濁を消失せしむると能はず。

水中の生物 水中に混ずるものは黴菌、水藻、原始蟲其他寄生蟲の卵類なり。而して黴菌は時候寒冷となるに從ひ其數を減ず、世俗寒水を貴ぶは、要するに黴菌の少きによりてなり。

水中の有機物 水中の有機物とは人畜の組織の廢棄物等をいふ、即ち田畠よりは肥料として用ゐたる人畜の糞尿等混入するとあり。此有機物は黴菌と大に關係あるものにて、有機物多き處には黴菌も亦繁殖す。而してかゝる場合には黴菌は有機物を食するが故に有機物は其數を減ずれども、恐るべき黴菌の數は却て增加するを以て、有機物の多き水は大に注意せざるべからず。

水質の良否 水質の善惡は實に複雜なるを以て、飲料として安全なるものを得んには固より專門家の檢定を仰がざるべからず。然れども吾人は目口鼻等を有する以上は、大略の檢査をなし能ふべし。即ち溷濁の水は一目して其不良なるを識別し得べく、又鹹味を有する水はコロール分を多く含み澁味を帶ぶるものは鐵氣を含む。其他臭氣は硫黄氣、金鑛等にて、略其質を鑑別し得べし。然れども外觀は淸潔にして少しも有害物を含まざる如くにして、尙蟲類土類、鹽類其他黴菌等を含有するものあり、故に危險の恐なからんと欲せば、專門家の檢定を受くるか、又は公設の上水を用ゐるに若かざるなり。

惡水の害 水は一刻も人生に缺くべからざるものなれども、惡質の水を飲む時は傳染病毒を受け、又は腸胃を損するとあり。然し水傷と稱して下痢するとあるは、分拆上其原因未だ詳ならず。一說には、これ水中に含有する揮發物の爲なりとて、每に水を煮沸して飲用せば其危害を避け得べしと云へり。然れども如何に良性の水にても多量に飲めば、消化液を薄くして、消化を害するとは勿論なり。

飲水の温度 水は冷かなる方味宜し、二十五度以上の水は嘔氣を催さしむ。飲みて快を感ぜしむるは五度乃至八度にありとす。沸騰飲料等も五度乃至八度の温度ならば害なし。氷水は温度低きに過ぐるが故に衛生上宜しからず。白湯、麥湯等も亦多量に用ゐれば消化を妨げ、且つ温度高きに過ぐれば宜しからず。畢竟身體の狀態によりて其要する温度に差異の生ずるものにして、歩行又は勞働の後など、凡て身體の熱し居る時に冷水を欲するものなれども、多量に飲めば反動として霍亂等を起すとあり。

◎家計收支の實況

南海道 一會員報

誠に御恥しけれど家計收支御目にかけ申候何分拙き筆下の事にて候へば縣名匿名にて御許し被下度候皆樣の家計の御整理御行屆實に御羨しさの極みに候私共は其月々を漸く過ごす程にて衣服費の積立などはとても出來申さず候

一家族四人 夫婦 書生(他所に在學中)下女一人

一收入金七拾圓也 一ヶ月分

一支出金七拾四圓九錢五厘 一ヶ月分

內譯

金六圓五拾錢	家賃
金五圓貳拾五錢	酒代
金壹圓五拾錢	八百屋物
金壹圓貳拾四錢	牛乳代
金貳圓五錢	菓子代
金四圓五拾錢	米代
金五圓拾錢	牛肉魚代
金六拾九錢	醬油味噌
金壹圓八拾六錢	薪炭油代
金五拾錢五厘	郵税
金五拾錢	乘車賃
金壹圓	交際費
金拾六圓參拾錢	主人小遣
金參圓	主婦病氣藥代
金拾貳圓	教育費
金壹圓貳拾錢	下女給金
金參圓五拾錢	雜費
金五拾參錢	主婦小使
金壹圓五錢	夫勤先にて引去らる
金壹圓參拾貳錢	新聞雜誌
金五拾錢	紙雜品
金參圓	慈善費
金貳圓	烟草

右の外に保險金税金など半期每に必要なれど右の次第にて積立て出來不申候

評 此の家計收支中、主人の小遣と酒代と主婦の藥代と(廿四圓五拾五錢)にて收入の三分の一以上に當る、此の三支出こそ收支不足を生ずる原因なれ。之を緊縮すること尤も急務なりと考ふ。羽仁もと子女史が發行する家庭之友といふ雜誌に、某主婦の經驗談を掲げたり、參考に資せんが爲全文を左に收錄す。『收入の中の幾らかを賄料として妻に渡し、其他は總て自分の勝手に費やして仕舞ふ主人や、甚しきは自分の收入の何程あるかと云ふとを、妻には少しも知らせぬ夫もあるさうでありますが、宅の主人はそれとは反對で、受取つた給料を殘らず渡して、家内の經濟は凡て私の思ひ通りに切り盛りするやうにして吳れますが、困つたゝには主人の紙入に豫定の小遣を入れて置きますのが、月の十五日位にはなくなつて、ドシ〳〵追加を請求されるとであります。で遂に先月から思ひ附いて、斯ういふ定めに致しました。それは主人の小遣の七圓五拾錢(僅かの收入であります故、一ヶ月の小遣はこれだけの定めてあります)を、三十日に割つて一日に廿五錢宛每朝紙入に入れるのです。最も不意の用意もなければなりませぬゆゑ、豫備金と稱して紙入の中の別の入れ場所に四五圓は入れて置くのです。初めの間はタッタ廿五錢とは心細いの何のと申して、始終豫備金を費ひ込むのでありました。或日、何うしたとか昨日入れた二十五錢が、今朝になつて十五錢ほど餘つて居ました。それに矢張定めの廿五錢を加へて置きましたから、其日の小遣はつまり四十錢になつた譯です。スルト翌日はまた二十錢ほど殘つて居ました。二十五錢が例によつて其上に加へられ、殊に其日は日曜で、終日家に居りましたので、月曜日には四十五錢が其儘殘つて居る上に、更に其日の二十五錢も加はつた譯であります。お金のとには至つて不注意な主人も、成程これはよい法だ、月の初めはチト窮屈だが、少し我慢して儉約すると、月末になるほど小遣が殖えるのだと、多少興味をもつやうになり、今月は一度も豫備金に手をつけなかつた上、最後の日には三十錢ほど餘し得たので御座います。そしてツイぞ氣の附いたとのない玩具を子供に買つて來たのでありました。若しも御同感の方がありますなら、試して御覽下さるとを望みます。

◎各地特殊の料理

(六一) 光明寺飯 豐後西國東郡 會員報

鱛を蒲鉾にする時と同じ樣にたゝきて、骨を取去り、尙丁寧に少しの骨も無い樣にして擂鉢に入れ、少許の食鹽と陳皮とを入れ、能く〳〵擂り、其身が柔かくドロ〳〵なる程に醬油にてゆるめ、(尤も醬油ばかりで味ひ鹹過ぎれば水をさしてよし)さて別に熱飯を茶碗に盛り、前の擂身を適宜にかけて、よく交ぜて食します。人によつては其上へ更に茶をかけて食べます。此料理は當地の光明寺の住持が工夫したので、光明寺飯と申して居ります。鱛と申す魚は西海に多い魚で、關東には居りますかどうですか、梭魚に似た形で、爼にのせて庖丁の柄の小口でたゝけば、うまく身と骨とはなれます。

(六二) 馬鈴薯の金團 德島縣會員 島野文子報

馬鈴薯を湯煮して皮を去り、焙爐にかけて水分を去り、臼にて搗き、粉にして平面な器具に入れ、一日程空氣に晒します。さて鍋に少許の酒を入れ、能く熱したる時、右の馬鈴薯の粉を極少しの水で溶したるを入れ、醬油と砂糖とにて能く煮詰めるのです。尤も之を煮つめるには、焦付かぬ樣に注意して交ぜることが大事です。酒の肴として客にすゝめるには、湯煮した魚肉や椎茸を一緒に入れて煮詰め丼に盛りて出します。單に飯の菜とするには、醬油斗りて煮つめて用ゐます。存外味の良いものです。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷錄事

◎東宮關西行啓　皇太子殿下は去る六日午前七時五十分新橋發臨時汽車にて御出發、同夜は名古屋離宮に御一泊、翌日和歌山御着あらせられたるが、御巡遊の御日割大體左の如し。但し天候其他の御都合にて變更することあるべしとなり。猶縣知事其他地方民の奉迎準備設計等總て無用たるべき旨、齋藤大夫より沿道地方官に通達せり。

八日、九日　和歌山御滯在（御泊德義社）軍艦若くは水雷艇にて由良要塞近海御回遊同砲兵聯隊御覽
十日　和歌山御發（軍艦高砂乘御）同日高松御着（御泊栗林公園掬月亭）
十一日、十二日、十三日　高松御滯在此間善通寺及び丸龜行啓善通寺に於て師團司令部若くは偕行社へ行啓其他歩兵第四十三聯隊以下各兵營、丸龜に於て歩兵第十二聯隊御覽
十四日　高松御發松山御着（御泊縣廳樓上）
十五日、十六日　松山御滯在此間歩兵第十旅團及歩兵第二十二聯隊御覽
十七日　松山御發岡山御着（御泊後樂園延養亭）
十八日、十九日　岡山御滯在
二十日　岡山御發京都御着（御泊二條離宮）
廿一日、廿二日　京都御滯在
廿三日　京都御發沼津御着爾後沼津御滯在

◎閑院宮春仁王殿下　昨年八月三日御誕生の、載仁親王々子春仁王は、此程御母君智惠子殿下と共に御參內、賢所等御拜の上、兩陛下に御對顔あらせられたる由。

愛國婦人會記事

◎評議員會　本月中の評議員會の日割は左の如し

十月七日（第一水曜日）第四の組
十月十四日（第二水曜日）第五の組
十月廿一日（第三水曜日）第一の組
十月廿八日（第四水曜日）第二の組

◎評議員臨時總會の景況　去月卅日午後一時より九段坂上偕行社に於て開會したる同總會當日の出席者は岩倉會長始め鍋島理事、山內禎子、柳澤秀子、田中伊與子、松平久子、松平須磨子、千家俊子、岩佐德子、伊澤千世子、伊集院繁子、鳩山春子、濱尾作子、豐島文子、大藏松子、嘉納須磨子、中山幸子、內山訓子、柳谷千代子、山脇房子、藤井とく子、鄉濱子、秋山民子、阪井春子、佐藤猶子、三輪田眞佐子、澁谷知和子、仁杉歌子、關郁子の各評議員にして、專ら有功章贈與に就いての議案に對して評議し、午後四時頃散會せり。

◎近衞本會相談役　大學病院に入院手術後經過は先づ好良なる趣きたるが、此程京都支部よりは幹事長代理として、幹事廣瀨宮子氏を遣はして親しく病狀を見舞はしめたり。

◎佐佐木海軍大尉　本會相談役小笠原子爵不在中代理として本會の爲に盡力せられたる佐佐木海軍大尉は今回八島艦の分隊長に轉ぜられたれば、會長は其後任を海軍少佐從六位勳五等濱口武五郎氏に囑託せられたり。

◎奧村刀自　去にし四日午前八時新橋發、關西地方遊說の途に上りたるが、其豫定は靜岡二週間、福井二週間、京都一週間、大阪二週間、廣島二週間、山口二週間にて、本年中遊說する都合なり。同日新橋迄見送られたるは岩倉會長代理、谷理事、島津理事代理及び松平須磨子代理、松平久子、千家俊子、關郁子、鄉濱子、中山幸子、山脇房子の各評議員なりき。

寫眞附錄の人名（寫眞面の順序）

石川縣支部能美分區幹事會

佐藤錦太郎　増田伊作　龜岡豐藏　岡原彰

西徳松　米谷牛平　奧村五百子　沼崎甚藏　伊藤仙俊

山口恒子　富樫眞寮子　高安果子　村上須磨子　沼崎愛子　米谷雪秀　鎌谷タメ子　柳田すき子

◎奧村刀自石川支部遊說日誌（承前）

八月四日　宇出津町を發し汽船にて珠洲郡飯田町に赴く。十二時半着、大津郡長、八木町長、富永助役及び大津八木兩幹事以下會員數十名波止場に出迎はれ、一同の案內にて西勝寺に入る。午後二時より同寺に於て演說す。聽衆約七百名、即時十六名の入會者ありき。當郡は從來僅に三名の會員あるのみなりしが、此度遊說に際し俄に募集の結果二十七名となり、更に新入會者を得て出發前既に五六十名に達したり。本日幹旋せられたるは以上諸氏の外、小學校女教員及び本寺住職西山圓究氏夫妻なり。尙同夫人は今回入會せられ、衆て同寺尼講員約三百名中百名は必ず勸誘入會せしむべき旨を語られたり。此夜同寺は一行に慈惠的宿泊を與へられたり。

同五日　午前十一時五十分飯田町を發し、汽船にて鹿島郡和倉に向ふ。午後六時四十分着、小泉旅館に投宿す。

同六日　和倉に滯在す。

同七日　午前和倉を發し、腕車にて七尾町停車場に赴く。鹿島郡幹事高田理子、藤澤潤子、森田とめ子、竹中より子外八名送迎の爲同處に出張待受けられたり。一同の談話によれば當郡は約百名の會員を得たりと云ふ。午前九時十分七尾發にて午後〇時五分金澤市に着し、片町大浦屋旅館に投ず。

同八日　午前九時廿分金澤市を發し、能美郡粟津村に向ふ。村上幹事長停車場迄見送られ、佐藤事務員は案內として同行せらる。十時半小松驛に着す、沼崎、米谷、山口の各幹事伊藤分區事務員及び増田伊作氏等出迎はれ、増田氏を除く外一同の案內にて粟津村に着し法師寺に投ず。武田郡書記は已に出張盡力中なり、富樫まさ子、鎌谷ため子兩幹事も亦小松町より出張周旋せられたり。午後三時より同村本光寺に於て演說す。聽衆約三百名、即時特別會員五名通常會員二十二名の入會ありき。沼崎郡長は金澤市へ出張中のところ、歸宅後わざ〳〵當村へ出張、刀自の演說了りて後、北淸事變の際楢原夫人が己の乳兒に與ふべき煉乳を負傷軍人に與へたる一例を引いて、軍人の生命の貴重すべきを說き、延いて本會の旨趣に贊成の意を述べられたり。又米谷幹事は繁忙中四里の途を遠しとせず出張の上幹旋せられ、午後十時歸宅せられたり、其熱心感ずるに餘りありと謂ふべし。

同九日　午前十時出發能美郡小松町に向ふ、沼崎郡長以下沼崎、山口、富樫、鎌谷の各幹事、伊藤、武田の兩事務員等同行、同十一時五十分同町かまや旅館に着す。村上幹事長、高安副幹事長は國原事務員を隨へて、午後〇時五十分着汽車にて出張せられたり。午後二時より蘆城小學校に於て演說す。最後に村上幹事長登壇本會の事業は單に慈善事業たるに止まらず、會員たるものはよく本會の旨趣に從ふて家事を經營せば、其一家に及ぼす利益鮮少ならずとの意を簡單に述べて入會を勸誘せられたり。聽衆五百餘名、即時入會者廿貳名、米谷貴族院議員、小松町有力家多數、沼崎、米谷、富樫、山口、鎌谷、柳田の各幹事、武田、伊藤、佐藤、國原の各事務員其他町長助役學校長等幹旋せられたり。熱心なる村上高安の正副兩幹事長は午後十時發車にて金澤に歸られたり。

同十日　小松町を發し、能美郡山口村辰口に向ふ。山口、沼崎兩幹事、伊藤事務員案內として同行せられたり。又富樫、鎌谷兩幹事は小松町より、柳田幹事、稱佛寺住職滋井氏同伴、北野醫師は寺井村より何れも態々出張せられ、沼崎郡長も同樣出張せられたり。午後三時より同村立小學校に於て演說す。了つて沼崎郡長は英國とトランスバールとの戰爭に於てトランスバールが小國なるにも拘らず、一般婦女子が軍人を助くる思想の强固なりしが爲に、よく大國に抗して三年の長日月戰爭を繼續し得たる例を引きて、國家の强大は婦人の力に待つこと多き旨を述べられたり。聽衆約四百名即時入會者十名。夜間同校長夫人先導となり、富樫鎌谷柳田の各幹事及び村長西田淸氏等同村有力家に就き入會を勸誘せられたり。當郡は郡長夫妻の非常なる熱心に加ふるに、各幹事及び會員諸氏の盡力を以てす、誠に邦家の爲に喜ぶべきなり。

同十一日　前夜村內を勸誘せられたる諸氏は今早朝又々戶毎に說いて、一行出發前迄に四十餘名の會員を得られたり。尙本日は普く全村を勸誘する旨を語られたり。午前十時辰口を發し石川郡美川町に到る、奧田事務員並に德證寺住職新田已亥氏等郊外に出迎はれ一同の案內にて德證寺に入る。午後三時より同寺にて演說す、聽衆約四百名即時入會者十餘名わざ〳〵出張せられたる柴田郡長及び町長二基喜氏は大に盡力せられたり。此夜同寺は慈惠的宿泊を與へられたり。

同十二日　午前十時廿分同町を發し、金澤を經て金石町に向ひ〇時廿分着す。奧田郡書記赤土前代議士及び同町助役等出迎はれ、一行は導かれて本龍寺に入る。午後三時より同寺に於て演說す、聽衆約七百名即時入會者十餘名、柴田郡長は本日も亦出張幹旋せられたり。此夜同寺は一行に慈善的宿泊を與へられたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世論一斑

◉女子と官職　女子は複雜なる事務に當りて、一刀兩斷の快手腕を揮ふは能くするところにあらざれども、細心事に當りて遺漏少なく、綿密物に接して、極めて丁寧なるは、一般女子の特色なれば、高等教育を受けて、普通の學術と智識とを備へたる女子が細密なる注意を要する業務に當りて、男子よりも優れたる成績を見るを得べきは無論なるべし。されば此の特色を利用して、之を事業の上に發展するを得しめなば、何れの方面に向つても、其讓を留めざるはなかるべく、乃ち官廳又は公衙に於ける判任以下の官吏、若くは吏員として、女子に恰當せる事務は、甚だ多からざるを得ざるなり。是れ豈に教育ある女子をして、將來占有せしむべき好位置にして、女子に取りても、國家に取りても、最も得益あるものにあらずや。云々と論じ外國に於ける女子任用令の起源を明にし日本にも官職登用の途を開く可しと論ぜり　(女鑑)

◉一夫一婦論　一夫一婦とは、唯だ妾を持たずといふのみの意にあらず、妻以外の女に心を傾けざるの謂ひ也。故に藝者と隱れ遊びをするなどは無論一夫一婦の主意に負くものにて、嚴重に云へば不正の淫慾を根絶するのと眞の一夫一婦なり。此意味に於ての一夫一婦を守る人我が國に幾何かある。斯る一夫一婦に非ざれば眞誠の家庭なし。今は女大學や女今川の時代を過ぎたりと雖、夫人の心を喜ばし得ざるは決して一夫一婦の思想に非ず。一夫一婦とは夫婦は各々半身づゝを爲し、兩人にて一體と觀念するに在り。夫人を自己の半身と思はざるべからず、眞に能く半身なりと思はゞ恨むと能はざらん。自分の左の手が右の手ほど器用ならずと云ひて、左の手を恨み左の手を責むるならば、其は一體の貴きを知らざる也。一夫一婦は容易なる如くして難し、即ち其主義を嚴守する者男子にも女子にも少し。夫人たる者「おれは妾を置かぬから之れで一夫一婦だ」と思ふべからざる如く、細君も「私は操を守つて居るから之れで一夫一婦です」と思ふべからず。自分の半身が半身に眞實なる如くに、互ひに衝突も恨みもせざる眞實の心を有つて初めて一夫一婦なり、初めて他を責むることを得べく、家庭初めて治まるべし。　(萬朝報)

◉日本の家庭　貯金のすゝめの著者金森通倫氏の談話に曰く「一體經濟は學問である、其れで經濟を取る人は一石の米は幾らする之を吾家の家族若干人に割當て而して一合食ふ者が十人居れば一日に一升を費すと考へねばならん、火鉢に炭を一日に何度ついだか、其當つた火は幾らの價値を持つてるか知られはならぬ然し何も自分自身が強ひて買物杯をして歩かずとも宜いが、米價を始め野菜魚類より薪炭石油抔の價値位は知つて居らぬと一家の經濟は、滅茶々々です。私は之に就て又斯う考へる、一家の奥さんは戰場に於る大將軍の如きもので、自分は敵にも向はず、鐵砲も擊たず、劍を把つて先方の者の首も切らない、けれ共大將軍は鐵砲を擊ち、若くは敵の首を切る者を巧に使役して行かれねばならん、其れで部下の者を自分の手足の如く使ふには、大將軍が先づ劍で人を切る事も、鐵砲を擊つ法も皆知つて居らないと手下の者が働かない、已れは大將だから……」と云つて戰爭が始まると隱れて了う様な大將では仕方がない、其れと同じで一家を治めるのも總ての事を明かに知つて居らぬと下の者を使う事も出來んので、經濟の點から云へば此處も大切だと思ひます。」云々　(大日本婦人教育會雜誌)

◉出版界の流行　近來我國の出版界を見るに傳記、人物評論、成功立志談又は婦人に關する書籍の出版せらるゝもの甚だ多く昨今に至りても尚流行の勢を改めざるが如し。名士の經歷傳記の如き自ら後進子弟の處世上に裨益すると疑なけれども近時の出版に係る此類の書籍中には專ら人の短所失策等を記して誹謗を逞うし甚だしきは私行陰事を摘發したるもの少なからず。斯の如きは社會に盛名ある名士の信用を傷くるのみならず之が爲に思慮の薄弱なる少年子弟をして人の缺點短所のみに注目するの習慣を成さしむるの掛念なきに非ず、西洋文明國にて人の傳記を掲するものは公平無私を旨とするは勿論、成る可く其人の長所美德を發揮して完全なる模範人物に近きものを描出せんとし、或は其短所を擧ぐる場合にも十分に同情を寄せて之を觀察するの風あり。然るに今の立志談の中には或は米國の某富豪は斯く〳〵の大投機を試みて一擲數十萬弗の利益を得たりとか或は一場の頓智、意外の効を奏して世間の人氣を博したりとか、讀者の好奇心に投ずるが爲に千歲一遇の奇事珍聞を列擧したるもの少なからず。斯の如きは成功立志と云はんよりは寧ろ奇行遇中と云ふ可きものにして之を少年に示し徒に空想に耽りて僥倖心を強くし着實の思想を缺くの氣風を成すに至らしめんには、其弊害は著しきものある可し子弟の教育に從事し又は家庭に主たる者は書籍の良否を識別して其選擇を嚴にし、出版界の風潮を一變せしむるを期す可きものなり。　(時事新報)

雜報

◉貴夫人參內の勸誘　我國婦女子の習癖は兎角上流社會にも多くして、三大節其他の御式にも所勞と稱して不參する者年々其數を增加する模樣にて、畢竟不敬の意志に出るにはあらざるも、打捨て置きては女子教育上に及ぼす影響も少からざれば、天長節も切迫せる此際、大に之が矯弊を議せんとの議、某々新舊華族及宮內省高等官等の間に起り、不日夫々勸誘狀を發する都合なりといふ。

◉大日本女學會の晚餐會　大日本女學會第三回後期第四回前期兩學期共、當十月を以て講習終了を告げ、會員八千人、めでたく講習を卒へたるにつき、其の祝意を表せん爲、來十二日午後四時、上野公園精養軒に於て、晚餐會を開くよしにて、在京同會贊成員なる貴婦人、並に講義擔當講師諸氏一同百數十名へ對し、同會副總裁鍋島侯爵夫人より招待狀を出されたる由。

◉一家に金銀婚式を擧ぐ　東京府荏原郡平塚村大字下蛇窪二二二農秋元善次郎(五十三)は一家に揃る三夫婦が力を一つに協せての勞働に依り平和の生活を樂み、妻阿幾との一對に加へて上には父善兵衛(七十二)母阿作(六十七)の友白髮あり下には倅仁三郎(二十五)嫁阿松(二十三)の兩個あり阿松の腹に出でたる善藏(五つ)は祖父さん祖母さんに曾祖父さん曾祖母さん都合八つの皺手の上を珠となつて轉げ廻り、それに男女三名の雇人を加へ都合十人の賑はしき家內にて、笑ひ聲の外、門前に漏出る物音無しと云はるゝ家なり。老翁善兵衛が若年の頃には他人の小作をなしたる貧しき水呑百姓なりしが積年の額の汗は屋を潤し身を潤して相應の財產となり子孫の繁昌となり人に羨まるゝ家庭を造るに至りしかば今年恰も善兵衛夫婦の結婚以來五十年、善次郎夫婦の同じく二十五年に相當するを期として古風の家に文明流の金婚式銀婚式併せ行ふの目出度事となり、五十年前善兵衛夫婦が婚禮の盃を擧げし夜は十月九日と樂き記憶に刻み附けられあるを便りとして本月の其夜に双方の式を行ふ事と定め、手作りの黍を炊きては金婚式の金色を表はし手作りの白粟を蒸しては銀婚式の銀色を表はし一門親戚を招き集めて農的趣味の大宴會を開きたりと云ふめでたさの極にこそ。

◉大日本婦人教育會　同會の發企にかゝる婦人會館の設立は次第に其歩を進め、寄附金も次第に集りたる趣きなり。なほ來る第三土曜日には、文學士下田次郎氏の講演あるよし。

◉大日本婦人衛生會　同會の催しにて去し三日東京女學館に於て家庭看護法を醫學博士三宅秀氏が講演せられたるよし。尙同會の通知には特に(衣服御質素に相願度候)との注意を加へたるは新案なりしとぞ。

◉臺中婦人會の美擧　過日双溪庄に於て杉工兵少尉以下五名公務に鞅掌中死傷せしとは其當時各新聞紙に於て傳へられたるが今回臺中婦人會にては死者に弔祭料として銀十枚を、傷者に見舞として銀十枚を贈與するに決し不日實行の運びに至るべしと。

◉高等女子實修學校　同校にては今般裁縫割烹音樂繪畫生花刺繡等の專修科を置く事とし割烹科の內西洋料理のみは本月より開始したり授業日は毎週月曜水曜の午後にて月謝は一圓なりといふ尙同校には今十日女子講談會を開き、大村仁太郎氏の歐洲の女子教育談安井哲子女史の家庭と學校とについての講話あるよし。

◉教員傳習所卒業式　東京府教育會の本科教員傳習所同家事科教員傳習所は去四日午後二時神田橋外元府立第一高等女學校內に於て卒業證書授與式を擧行せし由今回の卒業生は本科八十四名家事科五十九名なり。

◉帝國教育會　同會の演說會に於て本會評議員下田歌子女史は、家政科研究について、左の意味の演說せられたり。
家政科の研究は二十年以來の難事業にして然かも未だ解決し得ざる問題なり其研究や一歩を進むれば一歩より遠く其窮極を知ること能はず之を先進の歐米各國に徵するに女子教育として曾て家政學を授くるものなし其之あるは獨り我邦のみ研究の至難なる固よりなり。要するに結局厨房整理の如きは理化學應用を以てせざる可らず今日の如き複雜なる我家庭にありては單純なる教科を以て足れりとすべからず
家政學の必要は蓋し茲に存するのみ。
右の趣旨を以て喝采裡に講演し終られたり。

◉天長節の横濱港　列國軍艦は毎年我が天長節を祝するため横濱に入港する例なるが今年は殊に日露間の成行に注目しつゝある折ゆゑ多數の軍艦入來して同港稀有の壯觀を現ずべし、但し北方に事あれば各國軍艦皆其の方面に至るべしといふ。

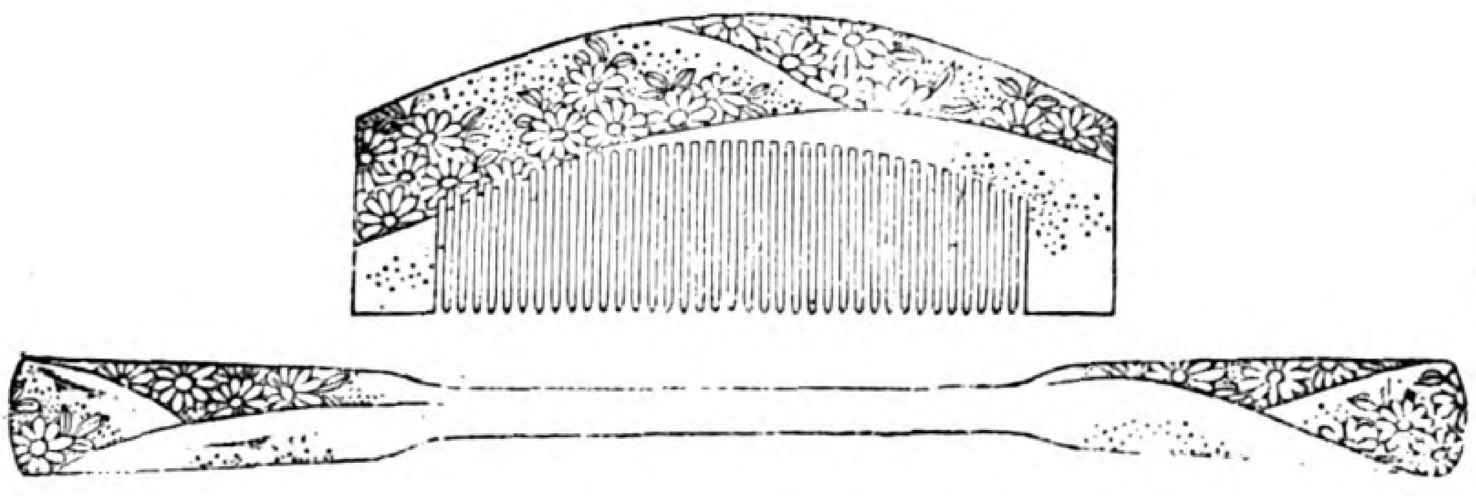
◉東宮御獵犬恩賜　皇太子殿下は過日伊藤侯へ獨逸產獵犬一頭を恩賜せられたり。其名をパラースと稱し毛色白及び茶斑、高さ二尺八寸、身丈四尺五寸、年齡七歲、獨逸聯邦各州犬族展覽會に於て毎度多くの賞狀を得たる逸物なりと。

◉ハウ孃の歸國　神戶に於て多年幼稚園事業に盡力して其名を知られたるハウ孃は今回シカゴ市フルベル協會保姆養成學校教頭に補せられ神戶にて乘船過日横濱發のコプチック號にて歸國したり。

◉文明世界の非文明　李瀨西內務大臣は去月五日伯林の警視總監に向て、男子が街上に於て婦人少女に侮辱を加ふると無からしめんが爲に、平服巡查を出して嚴重に取締るべき旨を訓令したり。此は甚だ疑はしき樣なれども、事實之ありて、婦人少女の侮辱を受くることは歐洲大陸中伯林に及ぶものなく、白晝に在ても、店頭に到りて買物をなす能はずといふ有樣なれば、結局其筋の保護を煩はすに至りしなりと云へり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

美術蒔繪櫛笄



柳の髮のうるはしきに眺めを添ろ月ならで四季を選まぬ櫛笄は花紅葉いろ〳〵候へと今般新調致せしは黒鼈甲又は四方張を以て流行の中京形に造り之に諸大家の意匠を凝せし名花山水其他の模樣を蒔繪せしもの又は奇貝寶玉類を彫刻鏤入せし佳麗の品なれば世の貴婦人方は流行に後れ給はぬうち御注文あらんことを

黒鼈甲臺一組價
十圓十三圓十五圓
廿圓以上五十圓迄
四方張臺一組價
三圓五圓六圓八圓
十圓以上十三圓迄

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
松田幸治郎
電話新橋五百五十一番

東京高等師範學校教授松本孝次郎先生著
全一冊美製本定價金五十錢郵稅六錢
家庭教育叢書第一編
家庭教育
兒童心理の原理を基礎として平易に家庭教育上必要なる事項を講述せられたるものにして女子必讀の良著なり

發行所
東京日本橋區本石町三丁目廿三 **金昌堂**
神田小川町一 **金昌堂支店**

諸學校女生徒の寄宿に應じ夜間英語を教授す
近藤女子監督家塾
東京市小石川區春日町四十三番地

本店
卸部 **美濃磯本店**
東京日本橋區長谷川町貳番地
電話浪花二八五九
電略ミイリ

小賣部
本郷區本郷五丁目十五 **美濃磯本郷支店** 電話下谷一四一五
淺草諏訪町廿貳 **美濃磯淺草支店**
芝區新櫻田町九番地 (美)**小田商店**
牛込神樂坂町二丁目八 (内)**伊澤商店**
四ツ谷傳馬町二丁目 (内)**伊澤支店**

盃類圖案一班
(金、銀、輕白金、白銅、安賀母尼杯及木盃製作應用)
● 玉田先生圖

山海圖

功表ノモ大ル賞適ス
勞彰最洪ナ觀ニ用

東京市京橋區尾張町二丁目十六、十七、十八、十九番地
時計寶玉類貴金屬美術品及各種鉄砲穴藥商 **天賞堂** (特電話新橋三三三)
天賞堂出張所々在地
東京市神田・長崎臨時・名古屋臨時・大坂市・廣嶋市・熊本臨時・長崎卅・小樽臨時
無料贈呈 天賞堂營業一覽(送費四錢)

來ル十日ヨリ十六日迄七日間 **冬季大賣出し** 御景品進呈
嶄新意匠 **半ゑり帶揚類** 御携帶品種種
○縮緬刺繡絞り模樣肩掛○新案袋織帶揚數多
○七五三御祝用絞り志ごき地○守巾着○誕かけ
○新橋〆○式部〆○別織下締地○襦袢袖○帛紗地
○鹽瀬無双染前掛○西京御召前かけ○金具附帶止
褒賞受領 新橋すゝめ形○ゑり治形 まげ入製造おろし小賣
○高等洗粉 顔肌美白 **チヱリー** 發賣元本舖 大瓶三拾錢 小瓶拾貳錢
新橋竹川町十二 電話新橋二〇二七 **ゑり治**

●冬物新荷到着●婦人洋服地並小間物御袴地類數十種
羅紗帽子、造花、飾羽根、手袋(皮絹毛メリ類)沓下、シャツヅロース、毛皮及羽根製襟卷、マフウールショール、レース入ハンカチーフ、リボンレース、コールセット、バクロ、ブラシヤフランネル等其外種々
英佛國最新流行品を選み直輸仕候間多少共御用奉願上候御好に應じ裁縫編物一式調進仕候
東京市麴町二丁目七番地 **八木屋號大國市藏** 電話番町七百四十二

醫院案内

院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診察
副院長 醫學士 久保徳太郎 每日夕刻診察
婦人科産科榊病院
東京麴町三番町卅三(電話番町三九五)

耳鼻咽喉科院
院長 ドクトル **山上兼輔**
四谷區本村町三十七番地
電話番町七三〇(士官學校前)
診療時間 毎日午前八時より十二時迄午後六時より七時迄○日曜大祭日は午後休療往診の需に應ず

東京小兒科院
駿河臺西紅梅町(電話本局一九五五)
院長 醫學博士 **瀬川昌耆**

●**水原産科婦人病院**
○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

内外科泌尿生殖器科
醫學博士 佐藤進
醫學士 佐藤佐
同 佐藤恒久
同 佐藤達次郎
醫學博士 田中苗太郎
醫學士 阿久津三郎
醫學士 吉井明七郎
醫局員 菅野徹三郎
同 前田利雄
同 笠間大作
各科專門ノ醫士分擔シテ診療ニ從事ス
毎週月水金午後一時ヨリ貧困者ノ爲メ施療部ヲ設ク
順天堂醫院
(本郷區湯島五丁目お茶ノ水)
電話本局三六九番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店
◎東京堂 神田區表神保町三番地
◎東海堂 京橋區銀座四丁目

婦人最良藥
子宮病血の道
產前、產後の諸症にて種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ
●如何なる難病も二三週間に全治す

中将湯

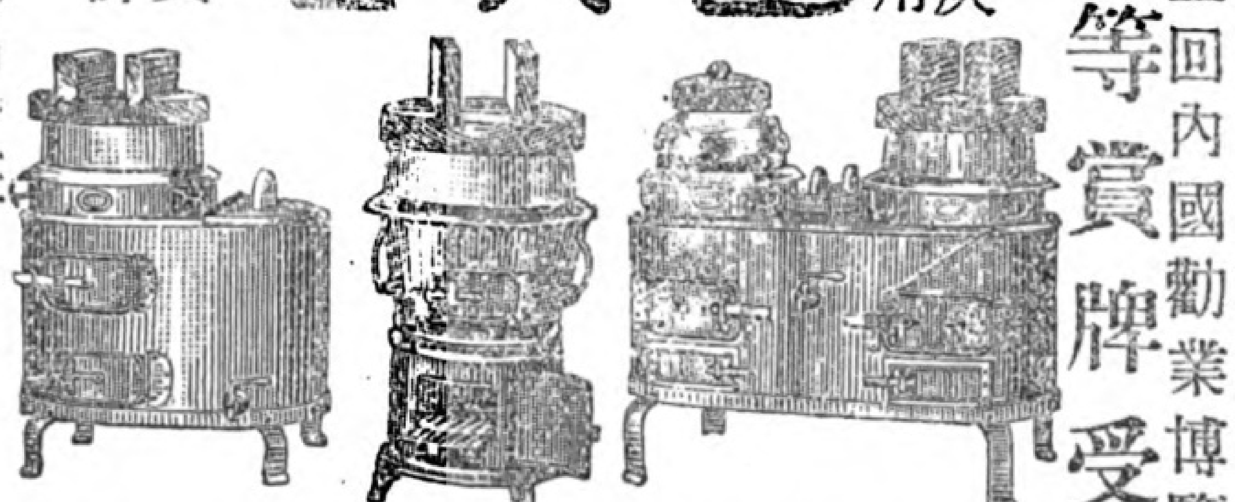
●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし
(定價 一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢)
●本舖へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ
本舖 東京日本橋通四丁目 津村順天堂
大阪堺筋鹽町北入 津村順天堂
中将湯は全國各藥店にあり

婦人ふるちの藥
定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢
此藥劑は婦人血の道一切の藥にして清血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわることなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたッぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●○南まけづつう目まひによし○ふるちとゝこほり○ながち○しらち○手あしいびれ○血しやく○ひゑるときさしこみいたむに功あり○むねこしいたみ○つぎむしによし○さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり○さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり○猶能書にくわしくしるす
本家製藥所 東京市本所區東兩國横網町一丁目
齒磨店 伊勢吉本店 (電話浪花二一七五八)

●女生徒募集
去る九月一日より授業開始せり裁縫科及和洋割烹科共補缺募集(規則入用は貳錢郵券を要す)
東京神田淡路町二ノ九 女子裁縫和洋割烹 專脩舍

家庭之友
毎月一回三日發行 定價五錢 郵税五厘 一年郵税共六拾錢
十月三日發行 第七號=要目
嫁入支度の改良 其一 石黒忠悳 其二 山脇房子 其三 コーッ夫人 其四 阿部優子
英國通信 好本督
質素の生活高尚の理想 安部磯雄
洗濯の話 横川下枝子
幼兒に與ふべき食物(明治母の會調査) 棚橋絢子
家政問答 井上友子
育兒問答
小兒の西洋服仕立方
家庭料理(野遊びの辨當)
勤儉實話(西洋の世帶持)
讀書案内(顯語の紹介)○編輯記事
販元 東京神田區南甲賀町八番地 内外出版協會

第五回內國勸業博覽會三等賞牌受領
薪炭兩用 富貴竈 專賣特許
○營業品一斑



●本器は世間在來改良竈の不備の點を悉く完備したる構造にして製作の精良堅固なること無比なり眞價は實驗にて知り給ふべし
●説明書御一報次第進呈す
●販賣店は全國到る所にあり

輕銀 アルミニューム製食器
アルミニューム製食器は高尚優美にして衛生に適し經濟なる美術的器具なり
此外船來琺瑯引器具及鐵瓶湯沸銅鐵物
發賣元 東京淺草區茅町淺草橋際(電話下谷一九一三) 阿部彦四郎商店

壽美禮おしろい (ヴワイヲレット製)
伊壺室吉製
定價 大瓶二十錢 小瓶十二錢
定價 大瓶廿五錢 中瓶十五錢 小瓶十錢

全國各學校徽章賞牌ハ弊店ノ獨專業ニ有之候 價格表ハ御報次第呈送ス
日本帝國徽章商會
東京市麹町區飯田町三丁目 電話番町八百五十七番

西洋色白くなる洗劑 壽美禮あらひ粉
東兩國 伊勢吉 壽美禮堂
定價綠藍紅彩蝶番ひ鑵詰六錢五厘ホックス入三錢袋入壹錢

第三卷第十號 十月十五日發行
をんな
毎月一回十五日發行 毎號紙數百四十頁 定價十五錢全國無遞送料

本誌の特色
◎本誌の目的は、婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て其本分を完うせしめんことを期するに在り。されば其所說、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通の婦人雜誌に掲載する、文學上家政上の記事のみに止めずして、●科學の大意を掲げて、學理の概念を得しめ、●和漢洋名著の綱要を掲げて、讀書の渉獵に便せしめ、●法制理財等の事を平易にものして、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なる戀愛文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌は勤儉貯蓄の美風を獎勵せん爲に、毎號懸賞貯金切手を附して、其模範を示す。◎本誌讀者は、みやび會員となり、其歌・文を本會に送附して、名家の批評添削を受くることを得。

發行所 麹町下二番町三七 電話番町(一三三〇番) 大日本女學會

女學生監督寄宿
家族的親愛ヲ旨トシ。懇切ニ監督ス。
○時々監督其他名家ノ講話ヲ請ヒテ修養ニ資ス。
○入塾希望ノ向ハ申込マレタシ。人員ニ限アリ。
○塾費一ヶ月金七圓。
女子大學校教授高島平三郎先生監督
女子翠松塾 塾主 土肥英子
神田仲猿樂町十七番地九號

帝國貯蓄銀行 銀座一丁目河岸通り
本郷支店 本郷一丁目
飯倉支店 飯倉四ツ辻
赤坂支店 赤坂一ツ木
四谷支店 四谷大通り
品川支店 南品川一丁目
横濱支店 横濱吉田町
神樂坂支店 牛込神樂坂
須田町支店 神田須田町
米澤町支店 兩國米澤町
吾妻橋支店 淺草雷門前
田中銀行 日本橋坂本町 代理店

愛國婦人「をんな」並に女學講義廣告取扱
田區千代田町 博報堂 電話本局一四四番
京橋區尾張町 弘報堂 電話新橋八五一番
京橋區八丁堀中町 一星社
日本橋區上槇町 萬年社 電話本局一一一五

補缺募集
本校女子部生徒ニ缺員アリ志望者ハ至急申込ムベシ
九月
麹町區飯田町九段坂下 日本體育會體操學校

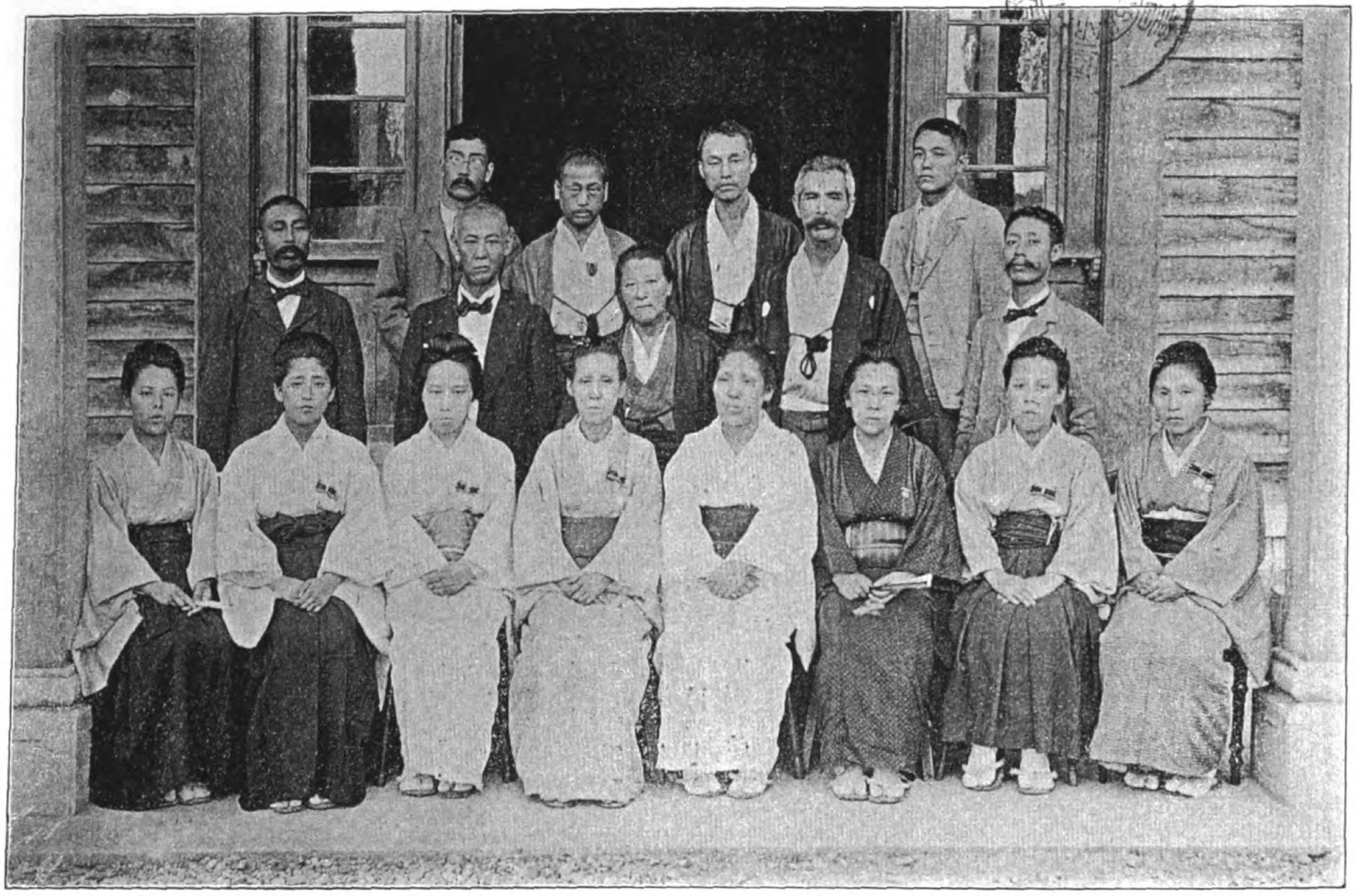
麝香獸印 ムスク香水
本石町四 芳香藥種問屋 松澤商店

明治三十六年十月十日發行(毎月十日廿五日二回)
發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 大日本女學會内
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝 館 圖 IMPERIAL

明治三十六年十月十日發行（毎月十日二十五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可



愛國婦人會石川縣支部能美郡幹事會寫眞
（本紙記事參照）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　大日本女學會內愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總　裁　小松宮後室頼子殿下

副總裁　鍋嶋侯爵夫人

推戴贊成員

有栖川宮大妃董子殿下
東伏見宮妃周子殿下
華頂宮妃經子殿下
梨本宮妃伊都子殿下

其他贊成員貴婦人一百餘名

大日本女學會

新學期を開き何人にても入會を許す

◎本會は女子教育の普及發達を圖らむ爲に女子必須の諸學科を掲けたる女學の講義錄を發行し種々の障碍の爲に女學校に入學すると能はざる女子に居ながら修養を積ましめ以て一般女子の地位を高めん事を目的とす

◎本會發行の女學講義は畏くも　皇后宮の御覽を辱うし殊に御歌下賜の光榮を擔ふ

◎本會は第一流の名家をすぐりて講義を囑託し其講義有益にして趣味に富めるは既に世の定評ある所にして明治二十八年創立以來已に貳萬五千人の講習修了者を出せり

◎女子素養の程度に應ぜん爲講義錄を高等と簡易との二種に別つ月謝は高等科金四拾錢簡易科金貳拾錢とし入會の節束脩(高等科四拾錢簡易科貳拾錢)を要す

◎詳細なる會則希望者は端書にて請求あり次第送呈すべし

東京市麴町區下二番町卅七番地　大日本女學會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN